



命を救う。命をつなぐ。
CHIKAMORI
HEALTHCARE GROUP
近森病院

近森病院からの ホットライン

2023.1 Vol.227

発行：近森病院地域医療連携センター



コロナ禍を
乗り越えて

昨年のごあいさつで第6波への備えをしっかりしたいと言っておきながら、新型コロナ感染症第6波の2022年2月に当院北館での大規模クラスターが発生し、救急診療や手術を停止せざるを得ない事態を引き起こし、県民や医療機関の皆さんには大変な迷惑をおかけして申し訳ございませんでした。このときの経験を活かし、第7波が起きた7月8月はスタッフ不足等により多少の入院制限、診療制限はありましたが、大きなトラブルもなく乗り切れたのではないかと考えております。／



周年目もフル稼働！



救急の近森として



2021年 実績

救急車
受入数 6,493件

転入搬送の依頼件数

198件
転入搬送は年々増加
しています



旧年中は地域の先生方をはじめ各医療機関のスタッフの皆様には多大なるご支援をいただき誠にありがとうございました。

二〇二三年一月より

川井副院長が

院長に就任いたしました。

新院長のもと職員一丸となり、高知の地域医療の発展のため努力してまいりますので、よろしくお願ひいたします。

近森病院
地域医療連携センター
センター長 塚田 晃
(外科・消化器外科主任部長)



当院では重症患者用コロナ感染症病床を7床設けておりますが、第7波ではその7床が満床になることが多く、救命救急病棟の陰圧室を最大4床コロナ対応病床に転換していた時期もありました。新型コロナ感染症も4年目になり行動制限はなくなり、5類感染症への見直しとの報道はありますが、依然感染力の強い感染症であることは変わりありませんので、気を引き締めて診療にあたっていきたいと思います。

今年もお届けします！連携ガイド

毎年『地域医療連携ガイド』を作成し、各分野で専門性の高い治療や最新の治療、各診療科所属医師など最新の情報を皆様のお手元に届けられるように準備をしております。また、最新の治療などの特集を組み、毎月『ホットライン』としてもご紹介ていきたいと考えております。



高知県における当院の役割を考えつつ、地域の先生方とともに高知県の医療をより良くするために邁進していきたいと思います。そのため地域医療連携センターの職員一同努力してまいります。

